

茅ヶ崎セントラルクリニック 吉田 衝未(医局/副院長)

功 績 認知症を患っているため、症状を訴えることが難しかった患者さんの状態異常にいち早く気づき、適切な指示をしたことで重篤な状態になることを防いだ功績。

推 薦 者 神代薬剤師

推 薦 理 由 吉田副院長の迅速な判断とチーム医療によって確かな医療を提供したことで患者さんは早期退院することができました。患者さんの生き活きとした人生を支援するというクリニック理念を体現した事例だと思い理事長賞に推薦致します。

内 容

Bさん(70代)はADLはしっかりしているものの、認知症を患っており日頃よりコミュニケーションを取るのが少し難しい患者さんでした。

火曜日にご家族より『昨日からBさんに食思不振の症状があり、食事がとれていない』との連絡を受け、副院長を始めとしたスタッフたちは要注意の経過観察としていました。

食思不振のみの訴えでしたが、状態が継続していたためご自身で他院を受診されたところ感冒との診断で帰宅されました。

翌透析日に来院された際も初めは食思不振のみの訴えでしたが、丁寧に話を聞くと頭全体にずきずきとした頭痛があるとのことで、脳出血ではないかとの疑いを持ち他院紹介し、受診していただくことにしました。結果は脳室内出血との診断で、入院加療となりました。

しかし、早期に発見できたことで1週間程度の入院で済み、今も元気に通院しています。

認知症症状があり訴えがはっきりしない方でしたが、根気強く症状の確認をしたことで大事に至らずに済み、ご家族からも感謝の意をいただきました。